

おしゃべり工房



令和元年11月20日(水)、牧山市民センターにて、「第7回おしゃべり工房～ざっくばらんにESD交流会」を開催しました。森義明さん(牧山シニアクラス会長)、渡邊満枝さん(牧山まちづくり協議会副会長)、森山秀文さん(牧山市民センター館長)をパネラーに迎え、戸畑祇園大山笠の話の伺いました。森会長は青年団設立から家族総出で戸畑祇園大山笠に関わり、山を担ぐ中学生に一生懸命に指導され、中学が荒れた時期は、地元の大人と一緒に学校の立て直しに協力したそうです。山笠という文化の継承を軸に、子ども達は体験を通して成長し、地域への愛着を育んできたと感じました。そして、渡邊副会長は日本特有の「祭りに女性は参加できない」というジェンダー問題に早期に取り組み、女性参加の礎を築き、北九州らしい時代の先駆者として活躍されてきました。また、森山館長からは、地域連携の理想の形である貴重な話を伺うことができ、森山館長の陰ながらのバックアップが、市民センターに大きな役割を果たしたことが分かる内容でした。

人材育成・発掘プロジェクト 藤川 太栄子



未来パレットだより

ESDとは、「持続可能な開発のための教育」を意味する英語 Education for Sustainable Development の頭文字をとったものです。

本・絵本で伝えよう「北九州SDGs図書館大作戦!」スタート!

北九州市立子ども図書館が平成30年12月に開館して1年が経ちました。活字離れやネット依存が叫ばれる今、子ども図書館は子どもの読書活動の推進拠点として、子どもたちの学びの場・心の居場所・国際交流の場など多様な役割を担っています。この図書館の特色は、国内外の児童・幼児向けの本約35,000冊に加え、世界104ヶ国90言語の絵本も揃った、まさにSDGs未来都市北九州の顔ともいべき施設です。

北九州ESD協議会では、今後、本や絵本を通してSDGsの普及を目指す、名付けて「SDGs図書館大作戦」を計画しています。そこで、子ども図書館の古林節子館長に、SDGsを伝えるための「本」の役割について伺いました。



2019 北九州SDGs未来都市アワード受賞者発表

「2019 北九州SDGs未来都市アワード」は、これまでの「ESD表彰」にSDGsの賞を加えて再編したものです。今年度の受賞者は以下のとおりです。

賞の種類	活動名	団体名
SDGs大賞	econnect project (エコネクト プロジェクト)	econnect project
ESD賞	主体的に学び、持続可能な社会を創造できる児童の育成を目指した環境教育	北九州市立曾根東小学校
SDGs賞	総合的な学習の時間「藍島G⑤(あいしまごー)」	北九州市立藍島小学校
SDGs賞	中井グローバルプロジェクト	北九州市立中井小学校
奨励賞	「守ろう、マイリバー 大蔵川」	北九州市立祝町小学校

賞の種類	活動名	団体名
SDGs大賞	地域防災力向上のための防災・減災意識啓発プラン	明治学園高等学校「自然災害と防災・減災」チーム
ESD賞	広谷湿原保全プロジェクト	東筑紫学園高等学校理科部
奨励賞	SDGs地域企業連携プロジェクト	敬愛高等学校

賞の種類	活動名	団体名
SDGs大賞	ポイ捨てごみアート	にじのはしプロジェクト

賞の種類	活動名	団体名
SDGs大賞	北九州市における子どもの貧困の連鎖と食品ロスの根本的解決に向けた活動	特定非営利活動法人フードバンク北九州ライフアゲイン
ESD賞	魚町商店街SDGs商店街宣言活動	魚町商店街振興組合
SDGs賞	「生涯現役」、「生涯学習」を心掛ける60歳以上の年長者の「自主的な学びの会」	ESD推進いきいきシニア塾
SDGs賞	身近な生物多様性問題の「見える化」と、自然との共生を目指す連携・協働コミュニケーションの構築	NPO法人北九州・魚部
SDGs賞	東田サステナブル国際会議 (Higashida Conference for Sustainability)	東田サステナブル国際会議実行委員会
SDGs賞	里山保全活動	北九州里山トラスト会議
奨励賞	心の根っこを育むグリーンカード!	学校法人 本城学園 認定こども園 本城東幼稚園

賞の種類	活動名	団体名
ESD賞	北九州市を中核とした食品循環資源の地域循環共生圏構築と普及・啓発活動	楽しい 株式会社
SDGs賞	住宅再生事業で守る、地球と子供たちの未来	有限会社 ひまわり
SDGs賞	情熱・先端Mission-E(高校生向けエンジニアリング教育プログラム)	日鉄エンジニアリング株式会社
SDGs賞	国内初の官民一体となった「古着リサイクル事業」の構築	株式会社 エヌシー・エス
SDGs賞	枝光お出かけ交通	株式会社 光タクシー
SDGs賞	ギラヴァンツオープンマインドプログラム(GOP)	株式会社 ギラヴァンツ北九州

1 SDGsを伝えるために、本や絵本、図書館はどんな役割を果たすことができますか?

SDGsを学び、伝える場としての図書館の役割は2つあると考えています。

①SDGsそのものについて、図書館の本で調べることができる。

②本の中に込められているSDGsのテーマについて考えあったり、伝えるのに有効。

2 古林館長は中学校の国語の先生だったと伺っていますが、教師の視点からSDGsと図書館の関係についての考えを聞かせてください。

学校図書館は子どもたちにとって、学習の情報センターであり、安らぎの場です。本との出会いは、人生の中で大切な出会い。今、目の前の子どもたちに、どんな本を手渡してあげればよいのか、それを知っているのは子どもたちと日々向き合っている先生方だと思います。しかし、先生方も忙しく、どの本を手渡せば良いのか分からないという声も聞きます。

現在北九州市では学校図書館職員が中学校区に1人配置され、各小中学校には、子どもたちに読み聞かせや本の素晴らしさを伝えてくださるボランティアのブックヘルパーさんもおられます。これらの方達の読み聞かせの研修や、実践発表などを通し市全体でSDGs推進に取り組みたいと思っています。

また、地域のシビックプライドを育み、忘れてはならない歴史を伝える地元の本を紹介することも重要です。



やってみよう!「SDGs図書館大作戦」ワークショップ

- SDGsの願いがこもっていると考えるイチオシの本を各自で持ってくる。(図書館の本でも自分の本でもOK)
- SDGsについて学び、イチオシの本には17項目の中でどんな願いが込められているかを考える。
- 用意したブックカードに、イチオシの本の表紙と、17のアイコンの中から当てはまるものを選び、ブックトークを書く。
- 完成したらみんなで見せ合い、語り合い、分かち合う。



3 福岡教育大学附属小倉中学校との取り組みについて

今年度、小倉北区にある附属小倉中学校から「SDGs」をテーマに連携したいという申し出をいただき、「SDGsを図書館で広めるために自分ができること」というテーマで、中学3年生が「企画書」作りに取り組みました。

SDGsを伝えるための本の紹介や認知度調査、葉作りなど、さまざまなアイデアの発表ポスターが出来上がり、館内に展示し来館者の方々にも見ていただき好評でした。

4 本を通したSDGsの普及について

本には、SDGsのさまざまな願いが込められており、SDGsのアイコンを切り貼りしながら手作りのブックカードで伝えてゆくプログラムはとても面白いと思います。

また紹介された本のコーナーを作って展示したり、Think Globally, Act Locally 楽しく広がってほしいですね。



SDGsフェスティバルIN小倉エコライフステージの様子

今年も西日本最大級の環境イベント「エコライフステージ2019」に出展しました。また、今年エコライフステージに合わせて「SDGsフェスティバルIN小倉」を船場広場(旧小倉ホテル跡地)にて企画し、北九州のユースが主体となってブース出展やステージイベントを開催しました。多くの来客者で賑わい、ESDの活動を広く知ってもらえる機会となりました。



▲エコライフステージではESD・SDGsを説明するブースを出展

▲SDGsフェスティバルには小さな子ども達が楽しめるブースがたくさん



〒802-0006 北九州市小倉北区魚町3丁目3-20 中屋ビル地下1階
電話・FAX (093)531-5011
E-mail: k-esd@k-esd.jp URL: https://www.k-esd.jp

発行: 北九州ESD協議会 事務局
編集: 北九州ESD協議会ブランディングプロジェクト
無断転載を禁じます
Copyright © 2007 Kitakyushu ESD Council
All Rights Reserved.

